

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

# 水産

7

JULY  
1993



特集 水産ぎょうせい

No.441

# COLUMN

**差別用語**  
 ◆憲法に「全ての国民は平等で、社会的身分は差別されない」と定めてある。人は皆、平等だと言つものの、差別する潜在的感情の根は深く、厳然と差別はあり人の心を傷つけている。言論や表現の自由は、制約なしには認められないものであり、良識に基づいた節度が大切である。これを欠き、うっかりホンネを漏らす暴言だと取り沙汰される。

◆一九六九年「同対法」の実施以後、差別糾弾の声は高く『差別用語』は厳しい批判を受ける。テレ

ビで放映する映画の音声が不自然に途切れる。映画の終わりに「不適切な表現があった云々」の字幕が出る。放送局は事前チェックを強化する。すべて差別用語に対する配慮である。しかし、きちがいを「精神障害者」めくらは「盲人」と言替えても、差別感情が無くなる訳ではない。病人や身体の不自由な人を、労り思いやる気持ちが必要ならば意味がない。

◆五世紀の半ば、律令制の導入で良民と賤民に区別する制度ができ、江戸時代には士農工商の下に非人・エタと称する身分を作り、罪人の

処刑や牛馬の死体処理などに従事させ、特定地域に住むことを強制し職業まで制限した。こんな政策が明治四年まで続き、廃止令が出た後も、人の心に深く浸透した差別意識は簡単には改められない。また、歴史的な事実を拭い去ることも出来ない。

◆国民の一人一人が、憲法の意義を熟知して平等の心を持ち、社会的差別の誤りに気付くとき『差別』は無くなる。それには同和教育を根気よく続けるしかあるまい。歴史の中に凝結する埋み火を消し去るのは容易なことではない。

(遊方)

## 拓水

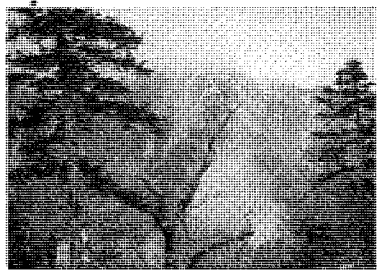
JULY

## CONTENTS

ESSAY	1
一人ひとりの努力でゴミの減量を	廣末 哲郎
公害基金情報	父ちゃん元気で沖通い(が良い)
特集	2
水産ぎょうせい	
インフォメーション	3
四季と寒暖の変化	
水試ノート	4
屋根瓦は魚礁にも使える!	
TOPICS	6
実習船「但州丸」実習生激励会を開く 第18回兵庫県漁民物故者合同供養祭を挙 平成5年度通常総会第38回漁協婦人部大会 など	
漁海況情報	8
海区漁業調整だより	
栽培漁業センターです 普及員だより	9
婦人アイデア料理「料理冊子を作成中(第2弾)」	
旬の美味い話	10
たこの梅肉和え	
兵庫JCC通信	
地域医療の拠点にJAハリマが診療所を建設 せっけん使用運動のとりくみ	
ものしり雑学	11
『鰻/ウナギ』	
ズーム	12
第19回豊漁祈願祭	
こちら海ですロケだより	
世界一の吊り橋の架かる町 津名郡淡路町より	

### 今月の表紙

#### フォトギャラリー



表紙撮影

星尾 国弘さん  
 <兵庫県漁青連会長>

フォト歳時記

「山霧/立山にて」  
 ◆長いトンネルを抜けると、そこはアルプスの真只中。切り立つ断崖に作られたテラス。後立山連峰が眼前に迫り、眼下に黒部湖が光る別天の地

◆亭々とした立山杉/フナ/ツガの原生林。針ノ木岳など連峰に消え残る雪が目映い。山霧が、波にさすちう流れ藻の如くユラユラりと漂う。

◆蒸し暑い街を逃れ、バス/ケーブル/ロープウェイで結んだ、アルプス縦断の旅。仲間たちのイキイキとした歓声が上がる。健康であることの喜び。

#### 表紙写真募集

アマチュアの方で、ご自慢の写真がございましたら、左のように明記して、お送り下さい。写真は必ずご返却いたします。①写真撮影場所②氏名(フリガナ)③郵便番号・住所④自宅電話番号(市外局番号も)⑤年齢・職業

送り先  
 〒六五二-二神戸市兵庫区中之島二丁目  
 二一 県立水産会館

兵庫県漁業協同組合連合会  
 指導部指導課「拓水」係宛

## 一人ひとりの努力で ゴミの減量を



(財)兵庫県水産公害対策基金  
専務理事 廣末 哲郎

わが家の小学校三年になる孫の春菜が、「おじいちゃん、一年間に出る日本のゴミの量は、東京ドームの何杯分か知ってる？」と問いかけてきた。私は、この突如の質問に面食らいました。一体、東京ドームの容積がいくらあるのか、全国のゴミ排出量がどれほどあるのかさえまったく見当もつかないの  
で、山勘もいところで「百杯位かな」と答えてみた。その結果は「ブーブー正解は、日本で一年間に出るゴミは約五千万トン 東京ドーム百三十杯分出るので。残念でした。」と、たったこれだけの会話でしたが、彼女がどこでこんな知識を仕込んだのか、学校で

はまだ習っていないだろうにと思って、彼女の本棚を覗いて見ました。ありましたその種本が。それは、小学館発行の「ドラエもん地球救出大作戦」という漫画の本でした。それには「地球環境やわれわれ人間にとってなくてはならない存在の熱帯林が急速に減少している。熱帯林のある国々は、大体が赤道近くにある貧しい国が多く森林の減少の大きな原因として、アフリカでは、七十％が焼き畑で消滅する。東南アジアは、木材輸出の無理な伐採が、森林をほろぼす最大の原因となっている。日本に輸入される熱帯林の木は、多くは合板にされ工事用のコンクリートパネルで使い捨てられる。紙の原料は針葉樹だが、これも日本は輸入にたよって出来上った紙は包装用・コピー用紙・新聞紙・紙オムツ・テッシュ等広い範囲で利用されている。これらのむだ使いが、ますます天然の資源を減らすことになり、ゴミの量を増やす結果となった。」と表現されており、少年達への教育が、このような方面からも着実に行われているのだなと感心させられた次第でした。

このようなゴミの増勢は、昭和六十年、政府・日銀がアメリカの「双子の赤字」解消のために円高と低金利を約束したプラザ合意に端を発し、昭和六十二年には、公定歩合は二・五％まで下がり、日本は右肩あがりの経済成長を示すことになり、大企業はこぞって超低金利の資金を大量に投機にあて、所謂財テクに明け暮れ、その結果、株・土地の異常な値上がり招いたことはまだ記憶に新しいところだともいます。このような経済情勢下では、当然のことながら消費性向も上向き生活関連や事業関連の廃棄物も多くなりました。平成四年十二月に、厚生省がまとめた「一般廃棄物処理状況」という報告書によると、家庭の生ごみや事業所から出たOA機器用紙などのごみの総量は、年間で東京ドーム百三十六杯分約五千四百四十万トンと前年に比べて四十七万トンもの増加だった。また一人一日当りのゴミの排出量は千二百二十グラムにも及ぶそうです。これを処理する経費（我々が収めた税金です）の総額は、なんと一兆七千五百六十四億円にも膨大な費用だそうです。これらの埋め立て処分地は、全国に二千三百三十六ヶ所あり埋立て可能な残り容積は、一億五千六百七十万トン。このまま新たな処分場が建設されなければ、あと七年ほどで満杯になる計算だそうです。

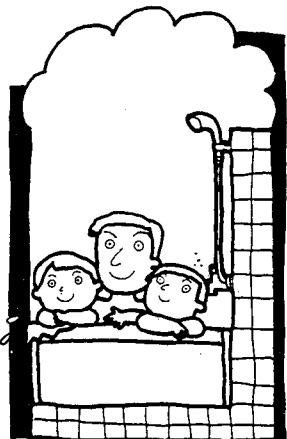
## 公害基金情報 父ちゃん元気で沖通い(が良い)

当基金が設立され以来、事業の一つとして遭難事故による死亡者の遺族に見舞金の給付を行っており、やがて二十年が来ようとしております。

その間に、操業中の遭難事故により、内海側で百二十六名、但馬側で六十五名の方々が亡くなられており、年間の平均にする内海側で六・六名但馬側で三・四名となっており、昭和五十年代中盤を境に年々減る傾向にあった回死し者数も、ここきて増加の傾向を示しております。

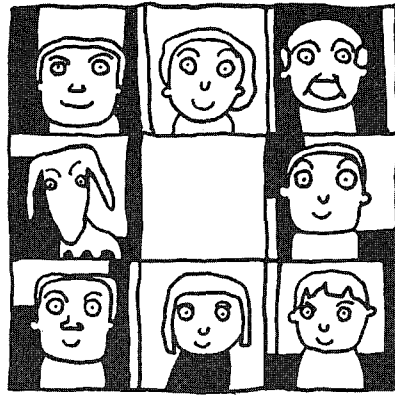
死亡事故の発生状況としては、業種別では内海で小型底曳網（四十二％）、但馬で沖合底曳網（六十五％）といった漁業に多く、原因別にみると原因不明による海中転落、ローラーによる巻き込み、ロープの絡まりによる海中転落といった事故（内海で五十六％、但馬で六十八％）に多いという傾向があり、また、年令別では、内海で五十才台（二十九％）、但馬では四十才台（二十九％）を中心に働き盛りの方が多いという結果となっております。

今一度、皆さんの作業状況、生活環境等をチェックされ、無理の無い安全な操業を願ってやみません。



# 特集

## 水産ぎょうせい



順番に並んでいるのが目につきます。それが開発係のメンバー四人です。

一番人口に近い黒くて若くてハンサムなのが二羽君です。この春、東京水産大学を卒業したばかりのフレッシュマン。近年、海外との水産関係者の交流が盛んになり、漁業先進県である本県には、海外水産関係者の訪問が目白押し。まず手始めは、外国人受け入れについて、ハチマキをしながら猛勉強。もちろん独身、彼女募集中です。

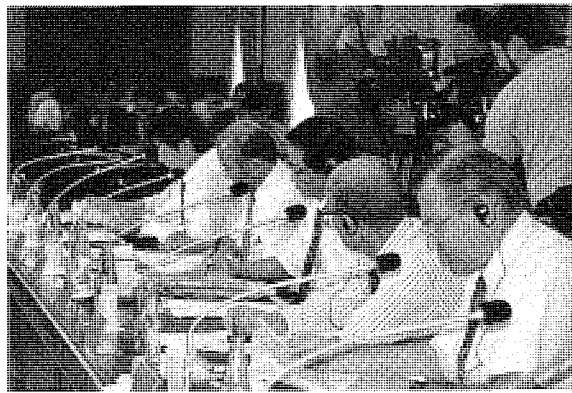
その隣では、色の白い芦谷主任が横文字の書類を書いています。英語と中国語がバリバリで、ハンゲルの素養もあり、数理統計とコンピュータの専門家。

第二回目は、水産課開発係の担当と業務についてご紹介しましょう。もともとは漁場保全係として、赤潮・公害対策事業などの漁場環境対策を担当していましたが、昨今の大規模開発プロジェクトの増加や、社会情勢の複雑な進展に伴い、水産業の新たな領域への対応と展開を図るため、平成二年度に内部組織を変更し登場した新しい係です。

さて、水産課のドアを開けると、窓際から色の黒いのが二人、色の白いのが一人、そして色が黒くて若いのがもう一人

今春、水産試験場内にオープンした水産総合情報システムの設計やレイアウトは、彼が中心となって水産関係の若手職員の頭脳を結集し、まとめあげた労作です。ただ今平成六年度に開催を計画している環日本海水産国際フォーラム準備のため、日本海沿岸各府県との連絡調整や、外国からの文書翻訳に活躍しています。その横の黒い山、いえ山のようにドッシリと座っているのがスポーツマンの山村主査。県下各地域での漁業者検討会などで、漁業関係の皆様はよくご存じでしょ

### 水産ぎょうせい



本県水産業の国際的な貢献が大きく期待されています

う。

「資源管理、一人一人がみな主役」のスローガンのもと、資源培養管理推進事業を全力投球で進めています。また、日本海の栽培漁業の一大拠点として期待されている但馬栽培漁業センターの建設工事も担当しています。とにかくバイタリティー満タン、開発係の大黒柱です。

さて、一番窓際でタバコをふかし、まっ黒けに日焼けしてるのが、あ、私や。係長の土岐です。

本県水産関係の皆様のご理解を頂戴しながら

- ① 資源管理の推進と定着を図り、豊かな海の幸を守り、育て、未来に引き継ごう。
  - ② 国際社会への貢献と水産分野における国際化への対応を進めよう。
  - ③ 水産業の特質をフルに活用し、新しい領域へ挑戦をしよう。
- を念頭に、係の業務を進めています。但馬栽培漁業センター、環日本海国際フォーラム、資源管理。いずれも大きな課題です。ぜひとも皆様のあたたかいご声援をお願いいたします。



# 四季と寒暖の変化

舞鶴海洋气象台 予報課

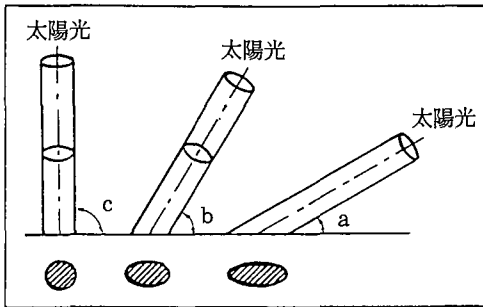
予報官 土田 惇



## 一、四季はなぜできるか

地球の軌道は楕円軌道で、地球が太陽に最も近くなる近日点は一月初旬で、その距離は、一億四千七百万キロメートルで、最も距離が遠くなる遠日点は七月初旬、その距離は、一億五千二百万キロメートルである。太陽との距離が最も短くなる時が暑くなると感覚的に思いがちであるが、北半球では太陽から最も距離が長くなる時期が夏で、最も距離が短くなる時期が冬である。地球に届く日射量は一月初旬の方が三・四%多く七月初旬は三・三%少ない。太陽から地球に届くエネルギーは七月より一月のほうが強いが、太陽からの距離は地球の季節にはあまり関係しないのである。

地球は公転と同時に、二十四時間余りの周期でその軸を中心に、西から東へ自転しているが、この回転軸が軌道面に対して六十六・五度の角をなしている。地球の赤道面が軌道面に対して二十三・五度傾いている。この傾きによって太陽の南中高度が変わり、地面に注がれる日射



入射角の大きさと地球表面が受け取る日射の強さの関係

エネルギーが変わる。南中時の太陽高度は北半球では冬至の日から次第に高くなり夏至の日が極大となる。夏至を過ぎると次第に低くなり冬至の日が極小となる。図のように同じ断面積を通過する日射が照らす面積は、太陽高度が低くなるほど広くなり、日射量は少なくなる。四季の変化は主にこれによって現われるのである。また、六月二十一日の夏至には、太陽は北緯二十三・五度の北回帰線の真上に達し、北半球では最も日中の時間の長い日となる。その反対に十二月二十二日の冬至には、太陽は、南緯二十三・五度の南回帰線の真上に達して、北半球では日中の時間が最も短くなる。春分と秋分には太陽は赤道にある。この変化が四季の変化となっている。

## 二、なぜ夏至が一番暑くないのか

それでは夏至と冬至のところに寒暖の極値ができるはずであるが、各地の月平均値は表のように八月が高くなっており約一ヶ月半程おそく現れている。これは気温の日変化と同じような考え方をすることができ、季節変化で太陽高度が高くなり、日照時間も長くなって入ってくる太陽エネルギーの量も多くなってくる。太陽の短波放射は、地表面に到達する前に地球大気中を通過する時三十四%が宇宙空間に戻り、十九%が大気及び雲によって吸収され、残りの四十九%が地表面に届き約二%が地表面で反射し、四十七%が地表面を加熱することになる。これによって地表は次第にあたたまっていく。一方、地球自体も一種の黒体としてその温度に相当する長波放射を行い、伝導、対流などの働きで顕熱を失い、蒸発による潜熱を放出したり、そのほかに、大気

各地の月平均気温の平年値

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
舞鶴	3.0	3.4	6.5	12.3	17.0	21.3	25.2	26.3	22.2	16.0	10.8	5.8	14.2
東京	5.2	5.6	8.5	14.1	18.6	21.7	25.2	27.1	23.2	17.6	12.6	7.9	15.6
松江	3.7	4.0	6.9	12.5	17.1	20.9	25.2	26.5	22.0	16.1	11.0	6.4	14.3
那覇	16.0	16.3	18.1	21.1	23.8	26.2	28.3	28.1	27.2	24.5	21.4	18.0	22.4

との間でも相互に熱交換を行うが、太陽放射量が地球の放射量より小さくなるころまであたたまり続けるので約一ヶ月あまりの位相の遅れが出てくることになる。このほかに、真夏に比べ六月ごろの梅雨期の前線停滞による日射不足で気温が上昇しないことも遅れる原因のひとつとなっている。冬期についても同じように高度角が低いいため太陽放射エネルギーは少なく、冬至を過ぎても温度が下がり続けるため最低気温の月平均は冬至よりも遅れることとなる。

# 屋根瓦は魚礁にも使える！

一次付着生物

{ 海藻  
動物 … フジツボ、カイメンなど

二次付着動物

エビ、カニ、ゴカイなど

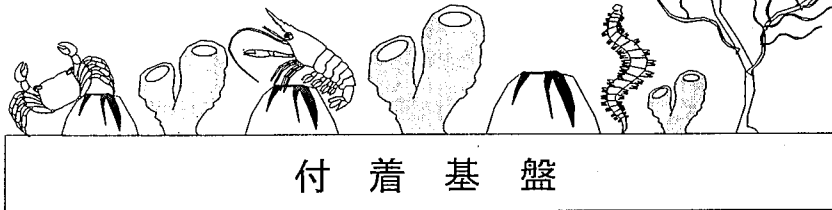
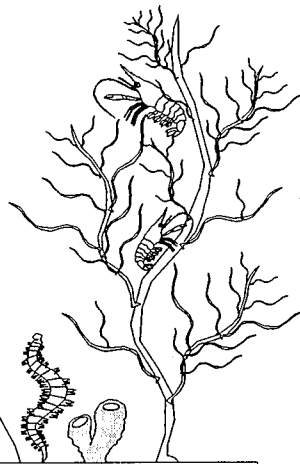


図1 付着生物の模式図

兵庫県で屋根瓦産地と言えは淡路島の西淡町を中心とした地域が有名です。一見この海とは無関係の産物を利用して魚礁が開発できないかという話になり、魚礁の素材としての瓦の効能を水産試験場で調査することになりました。調査は平成元年から三ヶ年にわたり行いましたので調査終了から少し時間が経ってしまいました。結果の概要について述べてみたいと思います。

瓦を用いた魚礁という瓦用の粘土を焼いて一・五m角型魚礁を作ることを思いつきます。しかし、そんな大きなものを作る事は不可能ということでした。そこで、鉄枠に瓦をはめ込んで角型魚礁に似た構造にし、海中に沈設して魚の蟄集状況を観察しました。しかし、従来からのコンクリートで作られた角型魚礁と比べて遜色はありませんでした。しかし、コンクリートを用いた場合に比べ制作経費が割高になるので、今後この経費をいかに抑えるかが課題として残っています。

魚礁という生産力の拡大を目的に設置される構造物と思いがちですが、魚を増やすために行われる増殖場の造成事業でもコンクリートなどで作られた構造物

が使われています。淡路島周辺海域を中心に設置されているマダイの増殖場には、マダイ稚魚の餌となる生物を増やすための石詰礁が使われています。石詰礁とはコンクリートの土台の上に石を詰めた鉄

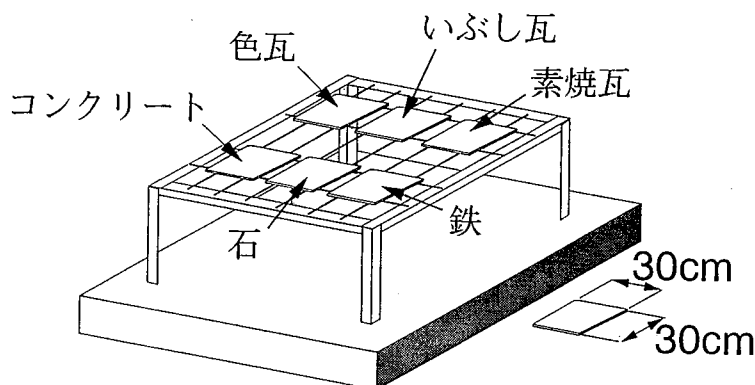
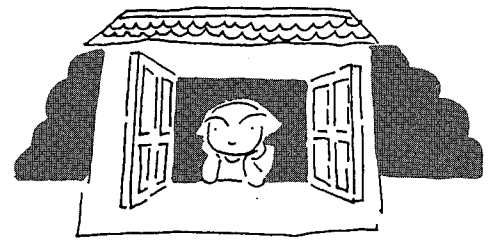
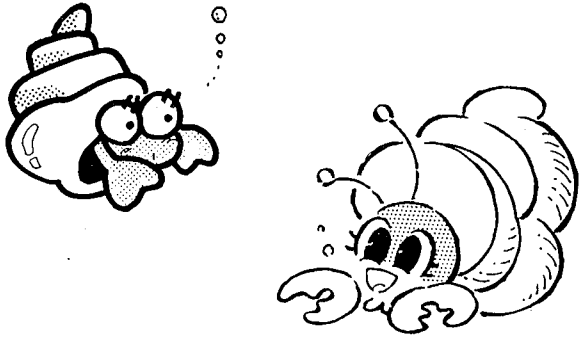


図2 試験礁

籠を乗せた構造になっています。籠の中の石に生物を附着させることにより生物相が貧困だった砂地にマダイ稚魚の餌となる生物を増加させる効果があります。

附着生物と一言で言ってもその中には図1に示すように海藻や、フジツボなどの動かない生物（一次附着生物）とエビやカニなどの自由に動き回る動物（二次附着動物）に分かれます。一次附着生物も魚の餌となる場合がありますが、やはり二次附着動物が稚魚等の重要な餌となります。ただし、この二次附着動物も一次附着生物の表面やすき間に多く生息するので二次附着生物も重要な役割をはたしているのです。

話が少し瓦からそれてしまいましたが、先に述べた調査の他にこの附着生物に注



目した調査も行うことになりました。瓦が持っている生物を附着させる機能を明らかにするため、従来から魚礁に用いられているコンクリート、石、鉄との比較を行うというものです。そのために図2に示すような鉄棒の上に各素材でできた三十cm角の試験プレートをのせた試験礁を制作しました。瓦としては素焼瓦、いぶし瓦、色瓦の三種類について試験プレートを制作し、瓦の種類毎にも結果を比較できるようにしました。試験礁は平成二年二月に海中に沈め、一定期間毎にこれらの試験プレートについて附着生物の量を調査しました。図3に海藻の重量、図4に餌生物として重要な二次附着動物の個体数の変化を示しています。海藻は平成三年二月にシダモクという種類が繁殖したため調査期間中では最も多くなり、中でも素焼瓦、いぶし瓦、コンクリートで多くなりました。これにともないその表面に付く二次附着動物の量も増加しています。二次附着動物の方はコンクリー

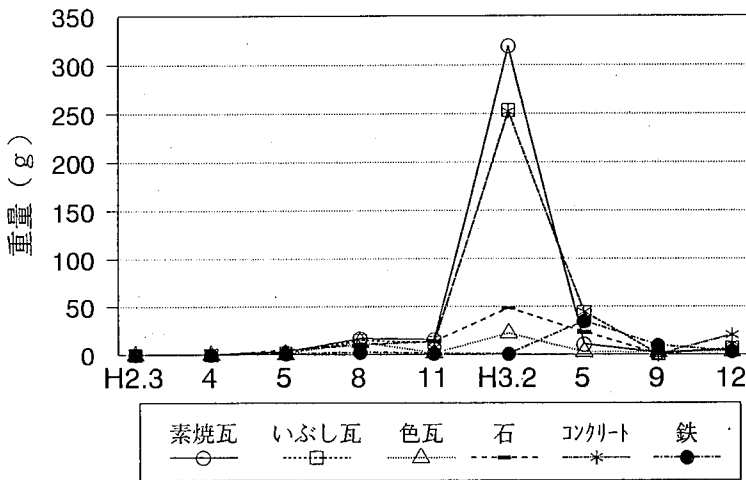


図3 海藻の変化(湿重量)

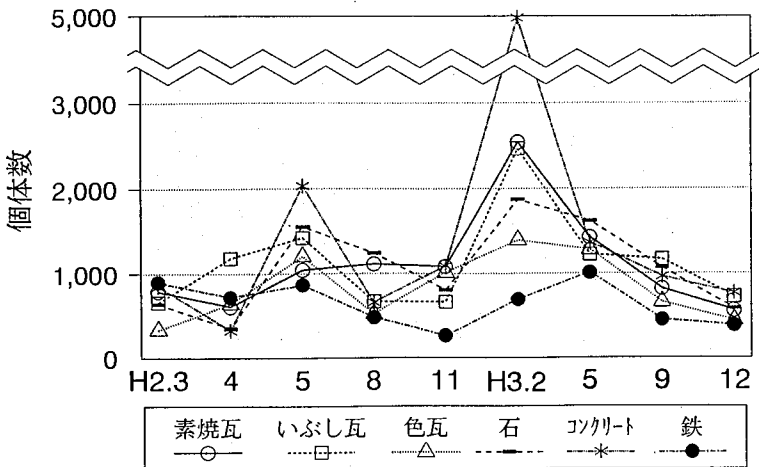


図4 二次附着動物の変化(個体数)

トが最も多く、次には素焼瓦、いぶし瓦で多くなっています。平成三年五月以降ではシダモクが衰退してしまっただけ二次附着動物の量も減少しましたが、比較的出现個体数が多かった素材としてはいぶし瓦、素焼瓦、コンクリート、石が挙げられます。一方、色瓦では表面がツルツルしているためか、海藻や二次附着動物はあまり多くありませんでした。また、鉄ではサビがはがれるため、海藻や二次附着動物も同時に流出してしまい現存量が少なくなってしまうようです。調査結果は月によりばらつきがあったので、生物の量で素材に順位をつけるのは困難

です。しかし、瓦三種の中で成績の良かった素焼瓦といぶし瓦は、従来から使われている素材の中で成績の良かったコンクリートと同等程度優れていると考えられます。今回の調査では試験用のプレートを単純に並べて比較しただけでしたが、実際に瓦を用いて魚礁を制作するにはどのような構造にすれば良いかという問題が出てきます。この問題については検討できませんでしたが、最近では瓦を利用した魚礁が実際に設置され始めていますので、その効果に注目して行きたいと思えます。(水産試験場資源部 研究員 中村 行延)

# TOPICS

## 実習船 「但州丸」 実習生激励会 を開く

去る、四月十二日、兵庫県立香住高等学校漁業科三年生二十三名を乗せた県立香住高等学校実習船「但州丸」は、マグロ延縄漁業実習、海洋観測等を行うためハワイ沖海域に向け出港しました。

実習は、水産業を総合的にとらえ幅広い知識の習得と、人格形成を図り、海を恐れず、海に親しみ、海を拓く心の育成と、共同生活で規律、礼儀、節度の必要性を、体験を通して学ぶ事を目的とするものであります。

二ヶ月間の航海実習を無事に終えた「但州丸」は、母港である柴山港へ帰港途中神戸港に寄港しました。

これを機会に、兵庫県漁政懇話会（県下漁協系統十一団体で構成）では、当日（六月十一日）ホテルシエレナに於いて、「実習生を励ます会」を開催いたしました。



激励会では、漁政懇話会を代表し、酒部県漁連会長の挨拶の後、県教育委員小坂指導第二係長、県農林水産部本下水産課長並びに県立香住高等学校高石校長が各々激励の言葉を述べられ、続いて実習生の紹介に入りました。

実習生二十三名は、一人一人が氏名、出身中学校、将来の希望等を二ヶ月間にわたる航海の疲れも見せずに澁刺とした態度で自己紹介をしました。

実習生紹介の後、但州丸指導教官河本教諭より実習航海報告、引き続き実習生を代表して萩原信宏君による挨拶がおこなわれました。実習生殆どの皆さんが、卒業後については漁業に従事する方等水産業界に就職を希望しており大変喜ばしいかぎりです。

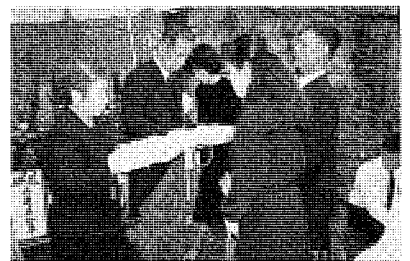
今後、学校で学ばれた知識と技能をこれからの水産業界の中で、存分に発揮し、海を愛する仲間たちの一員に加わり豊かな水産業づくりに向けて活躍されることを期待されております。

## 第18回兵庫県 漁民物故者 合同供養祭 を挙行

去る六月十三日、聖地高野山において、第十八回兵庫県漁民物故者合同供養祭が、漁業関係者ら四百余名の参列のもと、厳かに執り行われました。

初めに、遺族代表の手によって、本年度物故者百九十五柱（当日の申告を含む）の芳名簿を奉納し、引き続き、主催者を代表して酒部県漁連会長より本県が今日、全国有数水産県に発展したことは尊霊のご努力の賜物であり、あらためてご活躍を思いおこし輝かしい業績に深甚なる敬意を表するものであります。

今、我が国漁業は国際的にも国内的にも極めて多事多難なものであり、大きな転換期を迎えております。私たちは、諸霊の意志を受け継ぎ、新たな漁業の再構築を図るため一致

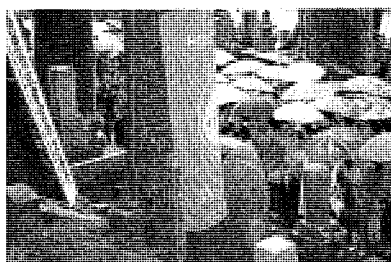


団結して、この難局を乗り越え、豊かで魅力ある漁業と活力にみちた漁村づくりに精進することをお誓いするものです。」と追悼のことは述べました。

また、ご来賓からの追悼のごとばとして、貝原県知事（矢野農林水産部長代読）並びに池尻全漁連会長（生明常務代読）から、物故者の方々に對する「ご冥福と水産業発展への決意を述べられました。

最後に、読経のながれる中、来賓、ご遺族から一般参列者等まで焼香が行われました。

本供養祭は、本年度で十八回を迎え、これまで合祀されたご尊霊は八千二百九十二柱となり、心からご冥福をお祈り致します。



## 第17回 兵庫県漁青連 通常総会 開催す

去る六月十九日（土）兵庫県立水産会館四





階大会議室において、平成五年度(第十七回)兵庫県漁青連通常総会が約九十名の出席のもと盛大に開催されました。

まず、磯田県漁青連会長の挨拶の後、本下県水産課長、ならびに系統団体を代表して酒部県漁連会長より祝辞が述べられました。

次に、議長選出の後、議案審議に移り、提出された五議案の全てが満場一致で可決承認されました。

なお、本年度は時代の変革に対応するため、規約の全面改正を行うほか、任期満了に伴う役員改選が行われ、次のおり新役員が選任されました。

(新役員名)

- 会長 星尾 国弘 (姫路市連)
- 副会長 石井 幸樹 (沼 島)
- 川崎 美治 (香住町)
- 理事 中村 勝志 (神戸市)
- 早川 剛 (伊 保)
- 上谷 正仁 (坊 勢)
- 成瀬 知和 (炬 口)
- 坂部 充 (富 島)
- 来田 哲夫 (森)
- 川野 良一 (東田良町)
- 浜 全一 (坂 屋)
- 中村 勲 (浜坂町)
- 小林 健伸 (柴山港)
- 監事 山田 稔 (室 津)
- 西住 勝治 (一宮町)

また、この役員改選により退任された磯田前会長へ青壮年部一同から感謝の意を込めた記念品、花束が贈呈され通常総会は終了いたしました。

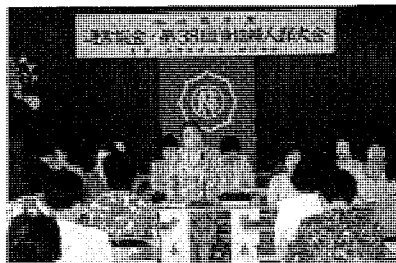
続いて午後からの漁協青壮年部大会では、大会宣言朗読の後、大会決議を採択し今後の本県漁協青壮年部員が取り組んで行かなければならない目標を確認しました。

記念講演では弁護士成田健治先生より「漁船衝突事故の対応について」のテーマで事故発生時において漁業者が的確で速やかな措置が出来るよう、特に初動体制についての基礎知識をご講演して頂きました。また、明石スポーツダイビングクラブ会長の南正一先生からは「海の中は今」のテーマで明石、淡路、日本海それぞれの海底の様子について自己撮影されたスライド、ビデオの体験などを通したご講演で、漁場クリーンアップ事業に取り組む青壮年部員にとっては大いに参考になる講演でありました。

最後に星尾新会長の閉会の挨拶をもって本日的全行事が締めくくられました。

平成5年度  
通常総会  
第38回  
漁協婦人部大会

去る六月二十一日、県立水産会館において、



平成五年度兵庫県漁協婦人部連合会通常総会および第三十八回兵庫県漁協婦人部大会が、県下漁協婦人部員等一五八名の出席を得て開催されました。

まず、播磨県漁協連会長の挨拶



その後、県水産課本下課長ならびに酒部県漁連会長、木下信漁連会長より祝辞をいただきました。引き続き、山田副会長の議長に議案審議が開始され、提出された四議案の全てが満場一致

で可決承認され、平成五年度通常総会は滞りなく終了しました。

なお、本年度は役員改選の年でもあり、次のおりの新役員が選任されました。

(新役員名)

- 会長 播磨よし子(五色町)
- 副会長 前田まつ子(神戸市)
- 大里千枝子(西二見)
- 西村 絹枝(浜坂町)
- 理事 小嶋 良子(室 津)
- 森 美智子(森)
- 丸一かつ子(青波浦)
- 石塚すみ枝(津居山港)
- 湯本千江子(兵庫)
- 高谷かつみ(伊 保)
- 安田美佐子(南 淡)
- 小林美千代(柴山港)

午後からは、漁協婦人部の歌斉唱、綱領唱和の後、明るく豊かな漁村づくりに向け確固たる信念をもった大会宣言が行われ、引き続き大会決議が採択されました。

記念講演では、ジャーナリストの村上和子先生より「女の目と芽」ときめて、輝いて」と題し、漁村を活性化させるために今、漁協婦人部員が何をすべきかを講演していただき、婦人部活動の活性化に一石を投じていただきました。

最後に、山田副会長より閉会の辞が述べられ、第三十八回兵庫県漁協婦人部大会を終了

しました。

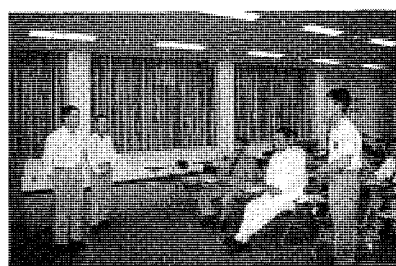
平成5年度  
兵庫県漁青連  
役員視察  
研修会を行う

去る六月二十五日、二十六日の両日福井県において県漁青連新旧役員6名が参加して役員視察研修会が行われました。

この研修会は県漁青連役員としての資質の向上と親睦を図り、かつ、旧役員から新役員への職務引継ぎを円滑にすることを目的に実施したものです。

視察先は福井県・福井火力発電所を訪れ、先ず同発電所会議室において火力発電のしくみ等の説明を受けた後、施設見学を行いました。引き続き一様の説明や見学を受けた県漁青連新旧役員は、同所に対する質問などを行いました。質問の内容は特に、兵庫県内海側の状況と比較した質問が数多く占め、温排水問題への取り組み姿勢の熱心さが伺え、時間が過ぎるのを忘れる程でした。

今回の視察研修会に参加したメンバーは次のとおりです。



- 星尾会長(白浜漁協)、早川理事(伊保漁協)、中村理事(浜坂町漁協)、磯田前会長(香住町漁協)、河野前副会長(浅野浦漁協)、鳴海前理事(竹野浜漁協)

# 漁海況情報

兵庫県立水産試験場

## 海況

概況 先月から梅雨らしい天候が続いており、日射量が少なく、水温の上昇が続いている。水温躍層はさらに発達し、底層では溶存酸素量が減少してきている。塩分は降水の影響で、表層では低い値を示したが、10m層では平年並の値を示している。降水量が多いにもかかわらず、植物プランクトン出現数が少ないため、特に播磨灘北部沿岸では窒素、リン、珪酸などの栄養塩濃度が非常に高くなっている。今後日射量の増加とともに珪藻を中心とした植物プランクトンが異常増殖する可能性があるため関係者は注意を要する。

水温 播磨灘の表層水温は十九・四～二十三・〇℃、北部沿岸をのぞく十五地点平均値は二十一・三℃であり、最近二十年間の平均値を〇・六℃下回っている。灘最深い部の表層と底層の水温差は五・五℃となっている。

透明度 陸上からの濁水の影響により、先月に比べ低い値を示しており、平年値を下回った。播磨灘北部では二mを下回っている。

プランクトン 播磨灘北部沿岸でスケルトナマヤキートセロスが出現しているが、全体に出現数は少ない。漁業被害を与えるシャットネラは現時点では認められない。

栄養塩 播磨灘北部を中心に窒素、リン、珪酸とも高い値を示しており、特に表層および底層で濃度が高くなっている。灘南部の表層では先月同様低い値を示している。

## 漁況

小型底曳網 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網（ちんづな）では、サルエビ、キウウセン、マダコなどが主に漁獲されている。

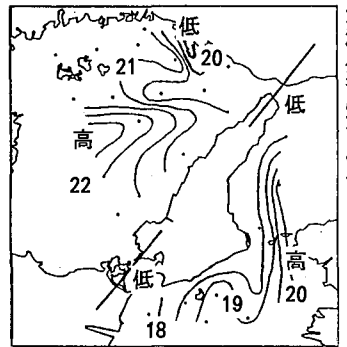
また、マダコの漁獲も上向いてきたが、また幼ダコが多く、水試の調査では、入網したマダコの約七割が百g以下の個体であった。

一本釣・曳網釣 明石海峡及びその周辺海域では、タチウオ、スズキなどが主に漁獲されている。一方、紀伊水道北部では、マアジ、タチウオなどが主に漁獲されている。今月も引き続きマアジが好漁で推移している。

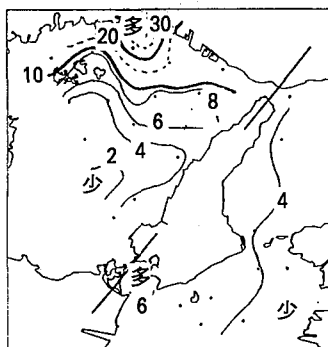
船曳網 しらす漁は、漁期始めは低調な漁獲で推移していた。しかし、今月の中旬頃から大阪湾の西部海域を中心に漁獲が上向いている。

カタクチイワシ卵・稚仔卵は、播磨灘西部に多くみられ、平年値を上回った。また、鳴門海峡周辺にも出現がみられた。しかし、稚仔の出現はどの海域でも平年値を下回った。

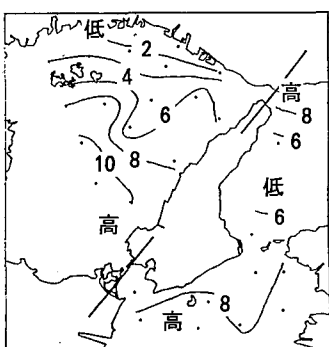
水温（表層水、℃）



窒素濃度（表層水、μg at/l）



透明度 (m)



水温、窒素濃度および透明度の水平分布（大阪湾および紀伊水道のデータは平成5年6月14日調査分）

## 海区漁業調整委員会たより

六月二十三日

兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員協議会を県中央労働センターで開催

一、区画漁業（魚類養殖）の漁業権一斉切替えに伴う今後のスケジュールについて

県水産課から説明があり、了承された。

二、遊漁船に関する委員会指示の事例調査報告について

事務局において調査した福井県玄達瀬及び大分県佐賀関北部海域における漁業と遊漁の調整事例について説明が行われた後、質疑応答が行われた。

三、東播磨地区における漁業及び海洋レジャー等との取り組みについて

白川副会長から東播磨地区・漁業及び海洋レジャー関係者懇談会の取り組みについて説明が行われた。

四、その他

遊漁対策検討委員会（仮称）を設置してはどうかとの意見が出された。

六月二十八日

但馬海区漁業調整委員会委員協議会を香住町漁協会議室で開催

一、全国漁業調整委員会連合会平成五年度通常総会の結果等について

去る五月二十八日東京で開催された総会結果と併せ六月三日石川県で開催された全国事務局長会議結果の要点が報告され、全国レベルでの漁業調整の現状と動静について認識を高めた。

二、小型いかつり漁業操業の現状について

京都海区漁業調整委員会指示内容の一部変更（定置漁業保護区域での火光利用の釣漁業の禁止区域の一部変更）、島根県漁業調整規則の一部変更（小型いかつり漁業の許可対象を従来の十トン以上船から五トン以上船に拡大適用）と漁業許可取扱い方針、但馬海区における県外船・県内船の許可状況と灯火規制の現状等について報告又は説明がなされた後、但馬海面での操業の現状と問題点、対応策等が検討された。

その結果、どうすれば違反者をなくすることができるか、漁業者モラルの改善策や取締り方法等について今後更に検討を続けることになった。

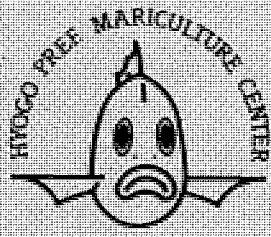
三、兵庫県但馬水産事務所平成五年度主要事業について

水産課から所管事業の主要事業について説明がなされると共に、漁業調整と密接な関係を有する資源培養管理対策推進事業や日本海水産資源国際管理推進事業等への取組みに対する一層の協力要請がなされた。

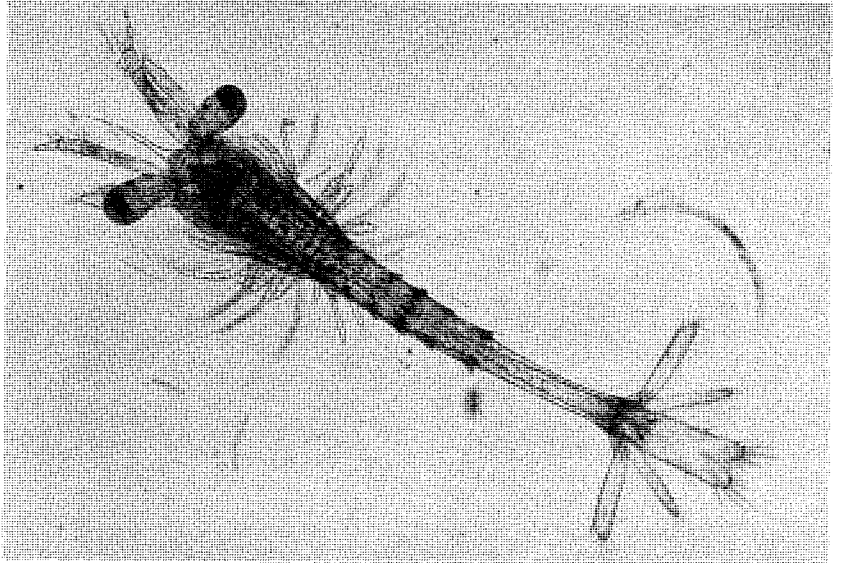
四、その他

本県水産課から検討依頼のあった鳥取県の次期漁業権の免許内容等に係る漁場計画について検討の結果、問題のないことを確認。

また、鳥取海区漁業調整委員会発令の鳥取海面でのひきなわ漁業の操業に係る指示内容が報告され、問題のないことを確認。



# 栽培漁業センターです 58



ミシス期のクルマエビ

海開きや山開きなど各地で夏の便りが聞かれる様になり、いよいよ夏本番となってきました。

マダイの種苗生産は七月九日までに全長約二十三mmの稚魚百万尾を配布して、終了しました。飼育を開始した当初の全長は約三mmととても小さかったですが、三十日もすれば全長約十二mm位になります。このころのマダイ稚魚は空腹になると、小さい仲間のマダイをつついて食べてしまいます。この共食いを防ぐ方法は給餌回数を増やして、お腹を満腹状態にしてやるしかありません。また、マダイの稚魚は好奇心旺盛で、どんなものにも興味を示します。この性質のためアミエビとイカナゴで作った魚肉ミンチを早くから給餌することができません。凍った魚肉ミンチを水槽に浮かせてやると、マダイの稚魚たちが一斉に群がって、必死になってついて食べてしまいます。水槽中のマダイが集中するため、水面が盛り上がりたかのような錯覚さえします。

一方、四月にオープンした津名事業場では、クルマエビの種苗生産とヒラメの中間育成を開始しました。クルマエビの種苗生産は三月頃より準備をすすめていたが、五月二十八日に親エビを徳島県小松島より百六十尾購入することにより本格的に始まりました。

これらの親エビを百二十kgの大型水槽に収容して飼育を開始しました。産卵誘発を温度刺激によって行い、翌日には体長〇・五mmのノープリウス幼生がふ化しています。餌料として茶色をした植物性アラシクトンの珪藻を給餌しており、水槽内は茶色でクルマエビがいるかどうか分かりにくい状態になっています。クルマエビは成長するに従ってノープリウス・ゾエア・ミシス・ポストラーバーと脱皮を繰り返して、姿を変化させて行きます。七月十三日には体長十三mmに成長した稚エビ百五十万尾を配布しました。ひき続き第二回目の飼育を行っています。

(兵裁協 吉岡 力男)

## 普及員だより

婦人アイデア料理

### 「料理冊子を作成中(第二弾)」

淡路地区漁協婦人部連合会では魚のアイデア料理コンクールを開催しています。このコンクールも昨年で六回目を数えました。アイデア料理というだけあって、魚臭くない魚ぎらいでも食べられる料理や洋風の料理など、普段魚を食べない家庭から料理のパラエティを増やしたい魚好きにまで喜ばれそうな料理が毎回集まっています。

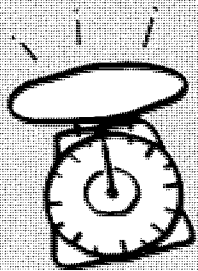
このアイデア料理コンクールの第一回から第三回の優秀作品を紹介する料理冊子があります。この料理冊子はアイデア料理の作り方の紹介だけでなく、淡路の主な魚や郷土料理、漁法の紹介を加えて、かなり本格的な魚料理の本に仕上がっています。そして今年はこのコンクールの第四回から第六回までの優秀作品を紹介する料理冊子を発刊する予定で、昨年からの準備が進められてきました。今年の六月には料理冊子編集委員会が発足し、前回よりもっといいものを作ろうと打ち合わせにも熱がこもります。

七月十五日その料理冊子に掲載する料理の写真撮影が行われました。料理冊子に掲載する予定のアイデア料理は全部で六十品目。今回はそのうち春夏の魚を使った三十四品目の料理の写真撮影です。あわせて六十種類に及ぶ料理の材料と調味料の山に圧倒され、目当ての材料を探して編集委員さん達は料理台の回りを走りまわり大騒ぎとなりましたが、さすがに料理達人な人が多く、三十四品目の料理すべてをわずか四時間ほどで仕上げてしまいました。写真撮影はプロのカメラマンに依頼しました。料理をきれいに盛り付け、生け花や折り紙を添えた美しい写真が撮れたようです。

秋には秋・冬の魚のアイデア料理の写真撮影を行う予定です。これらアイデア料理の他、魚の加工品の作り方や四季の魚料理、魚のさばき方、淡路の方言集などのコーナーを加えた料理冊子が来春二月ごろ完成する予定です。さてどんなものが出来るのか、今から楽しみです。

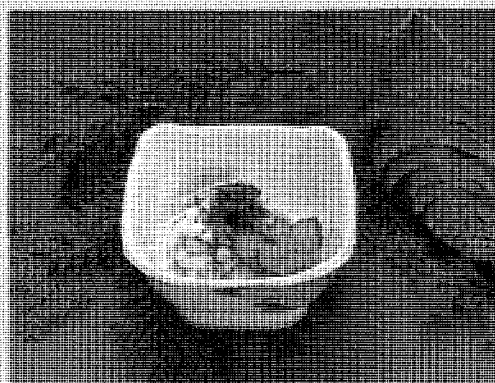
◆材料◆ (4人分)

たこの麺(生)	250g	醤油	小さじ2
玉ねぎ	200g	みりん	小さじ2
梅干し	4個	酒	小さじ1
青じそ	少々	酢	小さじ1



- ◆作り方◆
- ①生たこの麺の皮をむき、まきまきりにする。
  - ②青じそは、みじん切りにして水にさらす。
  - ③玉ねぎは、うす切りにして水にさらす。
  - ④梅干しは種をとり、醤油・みりん料理酒・酢を入れてよくすりこむ。
  - ⑤①②③④を器に盛りつけ、⑤を最後につけ合わせる。

●たこの梅肉和え●



庭長 湯島 穂人 部 アイデア料理

旬の美味い話 ⑨

生協

兵庫JCC通信  
今、JA・生協では

JA

環境にやさしい暮らしの提案  
せっけん使用運動のとりくみ

合成洗剤には、せっけんに含まれない合成界面活性剤が含まれています。この合成界面活性剤は、洗浄剤として使われた後、下水や浄化槽、川、海へと流されますが、なかなか分解せず、微生物を殺して水性動物の生態を狂わせ、結果的には自然の浄化能力を阻害してしまうといわれています。環境問題が叫ばれる今日、県内の生協では、今も、そして以前から、環境にやさしい暮らしを提案しようと、さまざまな取り組みをしています。

コープこうべ(神戸市東灘区)では、水環境にやさしい「せっけん」の開発を三十年前から行っています。洗濯用のほか、食器洗いやお風呂洗い、クレンジング、シャンプーなど、独自の開発によるせっけんやせっけん関連品がそろっています。例年六月の「環境キャンペーン」や、十月の「組合員まつり」で、パネルを展示する等、普及活動もすすめています。

地域医療の拠点に  
JAハリマが診療所を建設



地域医療、福祉活動の拠点となること  
が期待されるJAハリマみどり診療所

去栗郡のJAハリマが地域福祉活動の一環として建設を進めていた「みどり診療所」が六月十三日に完成、七月一日から診療を始めました。JA直営の診療所は全国的にもめずらしく、地域医療の拠点として期待を集めています。

管内の一宮町と波賀町の高齢化率は約二十%と高く、家庭看護、地域医療強化の要望が高まっていることから、昨年十二月から二億六千三百万円をかけて建設を進めてきたもので



「環境キャンペーン」のようす  
(コープこうべの店舗前で)

播磨生協(相生市)では、十二年前から、合成洗剤を店舗から完全に撤去しました。また、店舗ごとの「組合員まつり」では、せっけんのサンプルを配布し、使用運動を行っています。

生協都市生活(伊丹市)では、毎年六、七、八月を「シャボン玉月間」とし、地域に向けてアピールする活動に取り組んでいます。六月二十五日には、「せっけん講演会」(講師・生協連合グリーンコープ 市吉七海理事)を開いたほか、「せっけん展示説明会」も行いました。

診療所は鉄筋二階建て延べ八百平方メートル。診察室、検査室、医療機器室、運動療法室、フィットネス室などがあり、検査、予防機能を重視しているのが特徴です。診療科目は内科、放射線科、理学療法科(リハビリテーション)、人間ドックでエックス線テレビ装置、超音波診断装置など最新鋭の機器を完備しています。

診療所では、診察やリハビリテーションのほか、生活の基本になる「食」と「動」を充実させるための栄養指導やトレーニング指導にも力を入れ、地域の健康増進を図っていくことにしています。

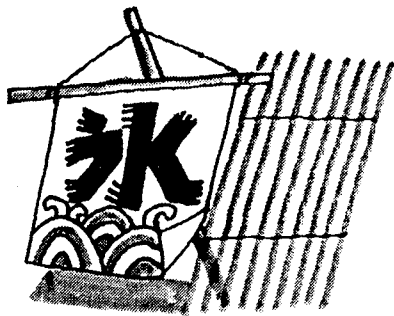
また、同JAでは女性会の会員を対象にホームヘルパー(三級)の養成を進めており、今後は診療所を拠点に、組合員の助け合いによる在宅介護サービスを展開していくことにしています。



『夏やせにウナギ』と言うのは万葉の昔からの習慣とか。暑さに負けぬように『ウナギ』に関する面白雑学ばなし。

◆**ウナギ**・古名はムナギ(胸黄)という。鵜が飲み込むと難儀するから「ウナギ」だとする面白い説もある。ニシン目から派生したと考えられ、鱗は皮膚に埋没して粘液でヌルヌルしているのが特徴。食性は肉食性で何でもござれで極めてドン欲。海や淡水域に生息し内陸深く住む。湖沼に陸封され大きく成長するものあり。蒲焼きにして美味。日本全土/朝鮮/中国に分布する。

◆**土用の丑**・土用の丑の日にウナギを食べることを流行らせたのは、江戸時代の奇人の大田蜀山人とか、平賀源内とか諸説がある。ウナギは中国/デンマーク



◆**養殖**・明治十七年、東京深川で始めたのが最初という。明治の半ばから三重/愛知/静岡で盛んになる。浜名湖周辺では土地の利を生かして特産品として発展し、国産品の大半を占める。つま楊

／イタリーなどでも食用とされるが、ブツ切りを蒸したり、油で揚げて食べるとか。蒲焼きは日本独特の美味な調理方法。

◆**産卵場**・日本のウナギの産卵場は長いあいだ不明だったが、最近になり沖縄の南/台湾の東方海域だと確認されつつある。火野葦平の『赤道祭』は、産卵場探究を主テーマにした新聞小説。産卵場に到達し、産卵直前の親ウナギを採取するクライマックスシーンがある。産卵した親ウナギは再び淡水に戻ることはない。次の世代が懸命に戻ってくる。

◆**変態現象**・卵からかえった幼生は『レプトケファルス』と称する木の葉型。回遊して淡水域に入り、そこでシラスウナギに変態する。(稚ウナギ/針ウナギなどという)さらに成長を続けて成魚となる。

子のような稚ウナギを採捕して、養殖池に放し一年〜一年半で出荷サイズにする。

◆**東海道四谷怪談**・鶴屋南北の名作。江戸末期の退廃色の濃い社会を背景とした怪談。『ウナギかきの直助』は残忍な性格の小悪党。川でウナギを漁っていてヒロインお岩の形見の櫛を拾う。当時、ウナギかきは極めて下層の漁民として描かれているが、社会のドンドン底に生きるアウトロウの直助には上手い役作りといえる。

◆**江戸風蒲焼き**・背割りにして頭を取り、竹串をうって白焼きをし、蒸してから味淋割りのタレをつけて焼きあげる。適宜に油が抜けて美味なものとなる。腹割りにして蒸しをかけずに、本焼きするの

が関西風蒲焼き。小さなメソッコを、頭をつけたまま串に巻いて焼いたものを『俱利伽羅焼き』という。ウナギは尾の力が強いから下半身の方がより美味い。キモの吸物/蒲焼きを茶づけにしたウナギ茶。これがまた旨い。



**活魚時代の革命児**

**オゾン浄化システム**

**特長**

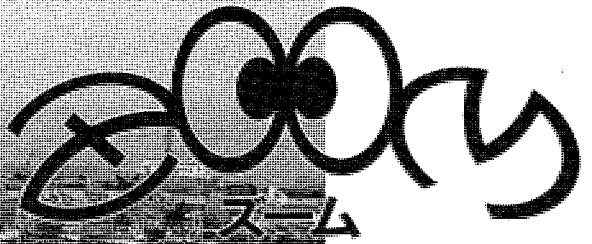
1. 殺菌効果が高い。
2. 透明度を高める。
3. 脱臭効果が大きい。
4. 藻の発生が少ない。
5. 海水交換の頻度が少ない。

いま注目されています。

活魚の市場価値を高める新時代の水槽システム。各種水槽の設計・施工のご相談は兵庫県漁連へ。

**株式会社高岳製作所**  
公共事業部・産業事業部  
〒101 東京都千代田区神田神保町1-50  
Tel.03-3292-6551

TAKAOKA



# 垂水漁港



## 第19回 豊漁祈願祭

～マダイ・ヒラメなど稚魚3万尾を放流～

永遠の豊漁と  
漁業操業の安全を祈願する  
豊漁祈願祭 開催



玉串奉奠の様子

昭和五十年、第一次オイルショックの後の石油価格の高騰、石油流出事故後の漁場環境の破壊など漁業水産業界にとっては大変厳しい状況の中、第一回目の豊漁祈願祭が神戸市垂水漁港で行われました。

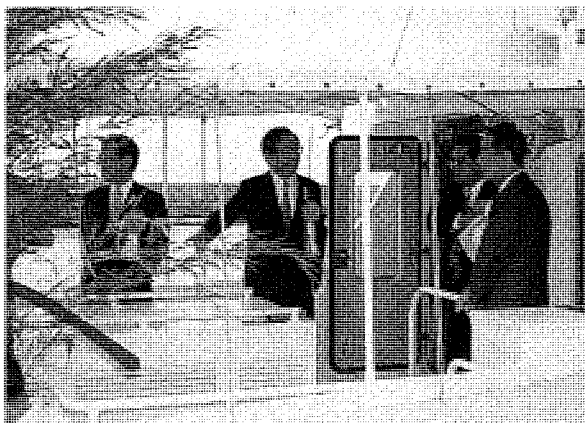
そして、今回第一回目の会場と同じく神戸市垂水漁港に於いて、目原県知事を始めとする多数の来賓、県下各地から漁業関係者四百余名の参列をいただき、第十九回豊漁祈願祭を盛大に開催いたしました。

行事は、陸上と海上との二部に分かれており、午前十時より垂水漁港内の神戸

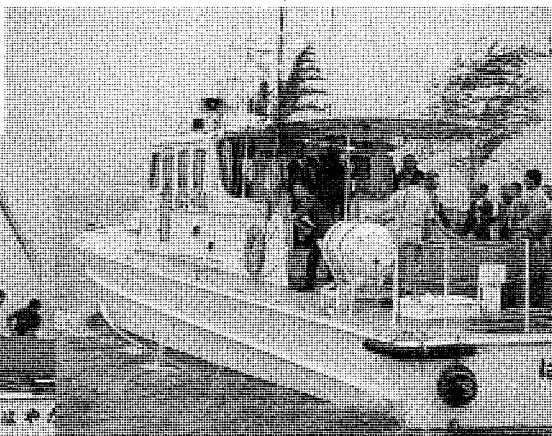
市漁業協同組合、共販所に設けられた祭典式場で、海神社宮司による陸上神事が厳かに執り行われました。酒部県漁連会長が祭詞を述べられた後、目原県知事を始め各界来賓の祝辞をいただき、漁業水産関係者一同、豊かで美しく恵のある海を自助努力の傾注で守る決意を新たにいたしました。

次に舞台を海上に移し、県漁業取締船「はやたか」、水産庁漁業取締船「せとうち」および県立水産試験場調査船「ちどり」など、四隻の放魚船に参加者が分乗し、垂水区塩屋沖にて海上神事が行われ、マダイ稚魚(体長約3cm)一万尾、ヒラメ稚魚(体長約五〜二十cm)二万尾など放流したのち、県議会議員小林先生の発声により、貴重な資源の繁殖を念じ万才三唱が行われました。

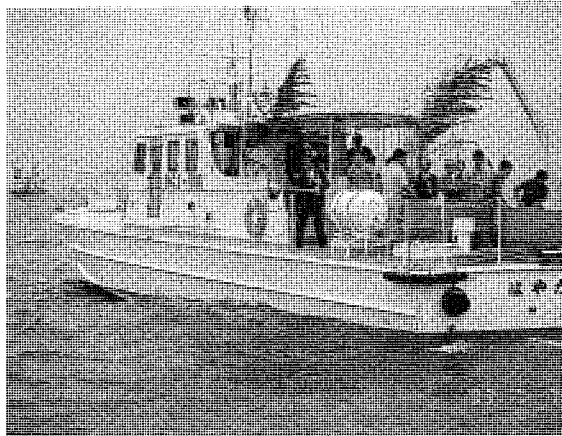
漁業を取り巻く情勢は、漁場環境の悪化や資源の減少、また後継者問題など、



様々な問題に直面し、解決しなければならぬ課題が山積みしています。このようなかで、漁業者は、資源管理と栽培漁業の積極的な取り組みにより、水産資源の保護増殖を推進し、かけがえのない海を守っていかねばなりません。そのためにも、放流した稚魚が無事成長することを願います。



酒部会員の放流



貝原県知事の放流

### 次代を担う子供たちにも 海の重要性を知ってほしい

一方、陸上では、これと平行して、垂水小学校六年生（約八十五名）による岸壁放流など、漁場環境保全の重要性と、水産資源の維持培養についての理解を深める体験学習が行われました。

放流した稚魚は、神戸市立栽培漁業センターで孵化したヒラメの稚魚（体長10cm～20cm）約三千尾。稚魚を初めて目にする子供たちがほとんどで、自分の手で放流したことを夏休みの貴重な体験として忘れないでしょう。

そして、岸壁放流の後、垂水漁港ビルで海洋環境、栽培漁業などの話を子供たちに聞いてもらいました。

現在では、栽培漁業が盛んに行われていますが、苦心して育てた稚魚が大き



魚などに食べられたり、小さいうちに獲られたりしてしまったり、放流の効果は半減してしまいます。そこで、もっと魚を上手に獲って、上手に売る方法や魚の管理方法が工夫されています。

兵庫県における漁場づくりは、天然の魚場が少ないために、これまで良い漁場となっていなかったところに、コンクリート製や鉄鋼製の人工魚礁を造っています。

また、魚を獲るだけの漁場づくりだけでなく、魚を殖やし育てるための人工の魚礁を造っています。この魚場づくりは栽培漁業や水産資源を無駄にしない漁業を進めるうえで、なくてはならないものです。

このほか、水産試験場や栽培漁業センターでのバイオテクノロジー（生物工学）の技術を応用した魚の成長を早めたり、普通のものより大きくなる魚や新しい品種をつくる研究が紹介されました。

最近では、マリンドライブング、ウインドサーフィン、ヨットなど海洋レジャーを楽しむ人々が増え、それに伴うリゾート施設などの建設が増えつつあり、漁業を取り巻く環境は漁業が主に海を利用してきた時代と比べ大きな変化を見せています。

海は、漁業のみならずであり、人々の心のふるさとでもあります。そのかけがえのない海を守るため、海の重要性を次代に伝えていかねばなりません。

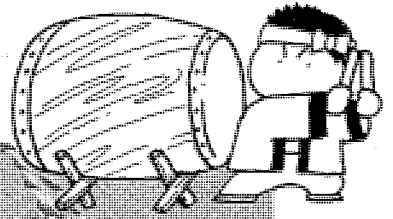
なお、最後になりましたが、但馬海域、瀬戸内海域での漁業操業の安全と永遠の豊漁を祈念してやみません。



子供達の放流（稚ヒラメ）の様子

●サンテレビの

# あちか海です



うおじま  
魚島を呼ぶ祭りダ!  
ワッセイ!

'93.6月13日放送  
(第820回)

## ロケだより

世界一の吊り橋の  
架かる町

～津名郡淡路町より～

淡路島の一番北側の町、淡路町は兵庫県の一番面積の狭い町。フェリーや客船の発着場である岩屋は淡路島の北の玄関口とも云われる所です。本土と隔てるのは御存知の明石海峡。今その海峡の一番狭い幅四キロの松帆の浦との間に出来れば世界一の長さの吊り橋となる明石海峡大橋の工事が着々と進められています。橋の完成に合わせて淡路リゾート構想の一角としての整備、日仏友好のモニユメントの建設等、淡路町は二十一世紀に向けて大きく変わろうとしています。淡路町は明石海峡を挟んで西に播磨灘東に大阪湾と海に大きく依存して来た町です。漁業との取り組み、従来の町の良さを残しながら魅力ある町づくりの為に開発のあり方等、町の一人一人が活性化を考えなければならぬ大切な時期です。

淡路島内の春まつりの最後を飾る石屋神社の春季大祭が五月十五日宵宮、十六日本宮と行われました。淡路町は昔から女性には表だたことは出来ないと言う保守的な土地柄ですが、今年の祭はチョット変わっていました。一つに町を出て行った子供達や同級生に、淡路町へ帰りたい、と言う気持ちを思い起さそうと、今年還暦を迎えた岩屋小学校の同級生が、タル御輿を担ぐことになったこと。もう一つは女性がタル御輿の担ぎ手に参加したこと。この時期はシラスの船曳漁も最盛期を迎えようとするシーズンで、その小魚を追って鯛や鱈等が瀬戸内を賑わすようになることから、

この石屋神社の祭りは「魚島」を呼ぶ祭りと言われています。シラスは春先の低水温のせいかわれからと云う所でした。取材日は志筑沖あたりの操業に便乗しました。鯛は明石海峡で吾智網にかかり、短時間でしたがそれは見事な鯛が揚がってきました。祭りには勿論、船曳漁・吾智網・水産加工屋さん、セリ人など様々な人が挙って参加し、口をついて出る言葉は、「この祭りで魚がドーンと獲れたら」と云うことばかり。

町あげての祭りは宵宮・本宮とも上天気。

御輿・タンジリ・太鼓・タル御輿が町中を練り歩きました。御輿を担ぐのは四十二才の今年本厄の男性達。このメンバーも町で生活する人や町を出た人も同窓会を兼ねての参加。祭りのあとは女性も加わって岩屋中学卒業十六年の同窓会を開くとか。驚いたのは還暦組のタル御輿のメンバーで、とても六十才とは思えない元気さ。朝の出発からこんなにハッスルして晩までもつかと思う程で、四十二才の御輿組にして、あれには負けたワ、と云わしめる程の賑やかさ。特筆すべきはその還暦組の女性軍のバイタリティ。

働いて働いて気がついたら六十才、これを機に第二の青春と云う人あり、精神年齢は二十才と云う人あり。人生六十年、戦争も体験し子供も育てあげ、働いてきた自信があの子供に帰ったような明るさに繋がっているのでしょうか。とにかくスタッフ一同元気をもらったような取材でした。